

まちみらい ニュース News

Vol.137

編集 公益財団法人まちみらい千代田
〒101-0054 千代田区神田錦町3-21
ちよだプラットフォームスクウェア4階
TEL3233-7555(代) FAX3233-7557
<https://www.mm-chiyoda.or.jp/>

まちみらい千代田 公式フェイスブック
<https://www.facebook.com/pages/公益財団法人まちみらい千代田/432697173544316>

まちみらい千代田 公式ツイッター
<https://twitter.com/MMChiyoda>

千代田区マンション管理講座 ～基本編～を開催します！

千代田区内のマンション居住者や、所有者の方を対象にマンション管理の基本が学べる『マンション管理講座』を開催します。

理事会運営の疑問や不安にマンション管理の専門家であるマンション管理士が実践的な知識を分かりやすく説明します。

日時 9月7日(水) 18:30～20:30
会場 ちよだプラットフォームスクウェア 4F 402会議室

受講料 無料
テーマ 「知っておくべき管理組合運営のポイント」

講師 親泊 哲
(一社)日本マンション管理士会連合会会長

対象 千代田区内のマンション管理組合や居住者、所有者

問合せ 住宅まちづくりグループ
☎3233-3223

中小企業向けビジネス法律相談(無料) 随時受付中!

まちみらい千代田では、千代田区内の中小企業のためのビジネス法律相談を実施しています。完全予約制となりますので、まずはお電話にてお問合わせください。

実施日時 応相談
(お問い合わせからおおむね1週間前後)
※1回45分

場所 千代田区神田錦町3-21
ちよだプラットフォームスクウェア

申込
・お電話にて予約状況をご確認ください。
・相談内容は、ビジネス法律相談に限ります。

問合せ 産業まちづくりグループ
☎3233-7558

『マンション管理に関する 書籍を貸し出します!』

まちみらい千代田では『マンション管理に関する書籍』を無料で貸し出しています。是非ご利用ください。

問合せ 住宅まちづくりグループ
☎3233-3223

『上下二軒両隣』 ～共同生活の知恵袋～を発行しました!



▲表紙は浮世絵師、歌川広重の手による、「東都名所麗が関の図」

昨年制作した「大ナマスご用心」～震災対策を知りましょう～に続く第二弾として『上下二軒両隣』～共同生活の知恵袋～を発行しました。千代田区民の約85%が居住する共同住宅のうち、マンションには様々な立場の方たちが関わっています。分譲マンションでは、区分所有者と賃貸居住者、賃貸マンションではオーナーと居住者、そして管理の仕事を行う管理会社です。それぞれの立場がお互いを気遣うことで、トラブルを未然に防ぎ、安全・安心な暮らしができるようにと制作しました。



▲マンション生活のマナーとルール

今回の冊子は、マンションにお住まいの方のための、快適な居住のためのマナーとルールへの理解、管理組合・オーナー・管理会社のための居住者間のトラブル防止と管理組合運営など、それぞれの立場の視点ですぐに役立つ内容となっていますので、是非お手に取ってみてください。問合せ 住宅まちづくりグループ ☎3233-3223

『第9回千代田 ビジネス大賞』 エントリー企業を 募集受付中!

「第9回千代田ビジネス大賞」のエントリー企業の募集を9月30日(金)まで受付中です。エントリー資格は
①千代田区内に本店(営業の本拠)があり、1決算期以上事業活動をしている法人または個人の中小企業
②経営成績および財務状態が健全であること、です。
エントリー方法は、「エントリー申込書」にご記入の上、FAXにてお申込みください。エントリー申込書およびパンフレットは、「千代田区役所総合窓口」各出張所窓口でも配布しています。
<https://www.mm-chiyoda.or.jp/business/biz-prize.html>
問合せ 産業まちづくりグループ ☎3233-17558

マンションに係わる助成制度改正のご案内

①安全・安心整備助成

区内の分譲マンションで、安全機器(エレベーターの地震時管制運転装置・戸開走行保護装置・停電時自動着床装置)を設置する際、またエレベーターをリニューアルする際に、かかる費用(消費税を除いた額)の1/3でかつ上限80万円を助成します。

- ①地震時管制運転装置
設置に係る費用の1/3でかつ上限30万円
- ②戸開走行保護装置
設置に係る費用の1/3でかつ上限30万円
- ③エレベーターリニューアル
①②の装置のほか、停電時自動着床装置の設置を含むエレベーターのリニューアル工事に対して、工事費用の1/3でかつ上限80万円

④防犯機器設置費助成
マンションの共用部分に防犯カメラシステム(防犯カメラ、記録装置、モニター等)を設置する際に、設置費用の1/2でかつ上限30万円

対象マンション
千代田区内の分譲マンションで、半数もしくは10戸以上が住宅として使用されていて、防災計画を策定済みもしくは、1年以内に策定することを確約できるマンション

②マンション劣化診断調査費助成

区内の分譲マンション及び賃貸マンションで、大規模修繕工事を行うための事前調査として、建物の劣化診断調査を行う際もしくは建物の簡易耐震診断を行う際の費用の一部を助成します。

対象: 築8年を経過した、区内分譲マンション管理組合及び賃貸マンション所有者

助成額:
劣化診断調査
かかる費用の1/2でかつ上限50万円
建物の劣化診断調査を行ったうえで、国土交通省の長期修繕計画作成ガイドライン・長期修繕計画標準様式に則り、長期修繕計画を作成もしくは見直しを行った場合は、費用の1/2でかつ上限80万円を助成します。

簡易耐震診断
かかる費用の1/2でかつ上限30万円
※助成は年度内1回限りとし、同一項目については、10年を経過するまで申請できません。

大規模修繕は、マンション生活をおくる上で、避けては通れません。マンションで来るべき大規模修繕に備え、事前の建物診断調査(劣化診断調査)を行い、マンションを適正に維持管理していきましょう。各種助成制度の詳細な内容については、お気軽にご相談ください。

問合せ 住宅まちづくりグループ ☎3233-3223



▲ものづくりを楽しみながら学べます

入場料 無料
問合せ 東京都立産業技術研究センター 広報室
☎5300-2521
<http://www.tiri-inno-vesta.jp/>

開催場所 東京都立産業技術研究センター 本部(江東区青海2-4-10)
②ファミリーデー
9月10日(日)10時～16時30分
工作教室やロボット展示、サイエンスショーなど最新の技術を体験できるプログラムを多数開催。

INNOVESTA!
イノベスタ
2016開催

都立産業技術研究センターの事業・技術を知ってもらうための一般公開イベント(入場無料)です。
①ビジネスデー
9月9日(金)10時～17時
中小企業向けの特別講演やワークショップ(事前予約)などを開催。

マンション相談員連載コラム

マンション よ・も・や・ま・話

第22回 ハチの巣騒動

初夏になると、マンションの植栽も成長が早くなり、毎年剪定を行います。ある時作業中の職人さんに事件が起きました。

植木職人さんがスズメバチに刺されたのです。スズメバチは毒性も強く人間を死に至らせることもあります。

当時、私は理事長でしたので現場を確認すると植栽の中に大きなハチの巣が出来ていました。

普段は植栽の中まで良く見ることは無いので、こんなに大きくなるまで気づかなかったのです。

今回の被害は最小限でしたが、も

し、通学中の子供達や通行人が刺されたら大変な事になったかもしれません。

即刻、植栽作業は中止し、ハチの巣駆除を優先する事にしました。役所に相談したうえで、駆除業者を手配し、殺虫剤の散布とハチの巣を撤去しました。

その後も、張紙等で近づかない様に注意を喚起したり、行き場を失った蜂の死骸がエントランス付近に散乱したりと大変でした。

このように思いもよらない事が起こりますので、管理組合は管理会社に任せっぱなしにせず危機管理を

マンション無料相談窓口開設中!

日時 月曜日～金曜日
(土日祝を除く)
午前9時から午後5時
(受付は4時まで)
場所 千代田区神田錦町3-21
まちみらい千代田
対象 千代田区内のマンション
居住者及び所有者

予約 事前に日時・内容をお知らせください。よりの確なご相談ができます。
なお、個人情報が公開されることはありません。

問合せ 住宅まちづくりグループ
☎3233-3223

常に心がけることが大切です。管理組合役員の一体感・管理員さんや組合員とのコミュニケーションを密にとり、危機管理に強いマンションにしましょう。

もし、マンションの敷地内にハチの巣が出来ていた時はまずは、千代田保健所生活衛生課環境衛生主査 ☎5211-8166 へご相談ください。

また、ハチの巣の駆除依頼は、(公社)東京都ペストコントロール協会

☎3254-0014(代表)
へご相談ください。

マンション管理士 ^{すずき しんいち} 鈴木 信一
問合せ 住宅まちづくりグループ
☎3233-3223



第8回 千代田ビジネス大賞 表彰企業紹介

ビジネス大賞に関する問合せ 産業まちづくりグループ
☎3233-7558

特別賞

エニカ株式会社

代表取締役 ^{とや まさみち} 戸矢 雅道

～コンピュータ用紙印刷・加工～

当社はコンピュータ用の用紙(ビジネスフォーム)を印刷・加工する会社です。一般の用紙よりも、粘着紙やカード・フィルム・健康保険証等の特殊な用紙を中心にして製造しています。

会社設立時の1986年(昭和61)から、特殊仕様の用紙を開発し、特許・実用新案を出願しながら、現在までに64件の出願・取得を重ねて製品を作っています。

現在の主力商品は2002年から販売している国民健康保険の被保険者証カードで、北海道から沖縄まで日本全国の地方自治体(市町村)を通じて、皆様のお手元に届けられています。

紙に特殊フィルムをラミネートした耐水構造ですが、この素材として、PETフィルムの使用から、最近では特殊なトウモロコシを使ったバイオ(植物性)素材への転換が行われていて、京都議定書からCOP21への地球温暖化防止の

ためのCO₂削減に寄与する素材の一つともなっています。今年はこのバイオ素材が販売開始の予定で、各自治体(市区町村)からの動きが活発になっています。20人足らずの小さな会社ですが、他社にはない開発型の印刷会社として、努力を続けています。

プリンタに関連した特殊な用紙や素材が必要とされる企業は、ご相談ください。機械を使わないでも卓上で直接ラミネートできる素材など、自社開発の多数の用紙や商品があります。パソコンで簡単に作れる会員証や会員カードなどもありますので、ご利用ください。

エニカ株式会社
☎3221-0137
http://www.enica.co.jp/



広

告

未来に向かって前進する開発型企业

1986年創業以来、当社はビジネスフォームと粘着紙との融合による複合製品開発を目的に皆さまのご期待に沿える製品創りをモットーと致しております。

プリンター用紙の創造開発を目指す



第16回千代田まちづくりサポート「はじめて交流会」を開催しました

7月19日、千代田まちづくりサポート助成グループOBが中心となって設立した「一般社団法人千代田まちづくりプラットフォーム」主催で助成グループを対象に「はじめて交流会」を開催しました。

助成グループ、関係者など約50名が参加し、助成グループそれぞれの活動内容、協力できることなどを紹介し、交流を深めました。終了後には「他の助成グループの意見は参考になった」「今後も定期的に交流会を開催してほしい」など多くの意見をいただきました。

◆「一般社団法人千代田まちづくりプラットフォーム」とは、市民のまちづくり活動の更なる普及と拡大を図るため、公益財団法人まちみらい千代田と協働契約を締結した法人です。

問合せ まちづくり推進担当
☎3233-7556



▲交流会の様子

千代田まちづくりサポート通信

市民レベルでがんばっているまちづくり活動を応援する「第16回千代田まちづくりサポート」で助成対象団体に選ばれた各グループの活動状況をお伝えします。

■麹町小学校ワーク・わく・クラブ 応援団

「コーギーランド」◇日本の文化を知って遊べる「昔の遊び広場」、まちの中に置く家具(ベンチなど)をつくる「ものづくり広場」を開催◇9月4日(日)13時30分～16時◇場所=番町の庭(四番町5-9)◇雨天中止◇タオル、水筒は各自で持参してください◇「ものづくり広場」に参加したい方は13時30分に集合してください



■PCN秋葉原 Assemblage

「秋葉原電気街で電子工作&プログラミング体験会」◇電気街探検、はんだづけで電子工作&プログラミング体験会を開催◇9月10日(土)16時～19時30分(15時45分集合)◇JR秋葉原駅電気街口改札外に集合◇参加費=1,000円◇定員=20組◇対象=小学生、興味をお持ちの方(小学生は、保護者の同伴が必要です)◇応募方法=メール(info@assemblage.tokyo)で事前申込み

■文人通りギャラリーカフェ

「文人通りギャラリーカフェ」◇新井巖氏(「番町麹町幻の文人町を歩く(言視舎)」著者、六番町町会長)による講演後、お茶と軽食を楽しみながら交流会を開催◇8月28日(日)13時～14時30分◇場所=カフェアマルフィ(六番町5-5)◇参加費=800円◇対象=番町、麹町にゆかりのある方、地域住民の方◇応募方法=メール(Amarphie@office.six.co.jp)または電話(3238-0333)で事前申込み

■問合せ まちづくり推進担当
☎3233-7556